

# 株式会社エフエム茶笛

## 2023 年度第 2 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和 5 年 6 月 29 日（木）17 時 00 分～18 時 00 分
2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2 階 会議室
3. 委員の出席  
委員総数：5 名  
出席委員数：4 名  
出席委員：水村雅啓（番組審議委員長）、飯島静江、黒川進、若月真理子  
  
放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄  
専務取締役 東 たか子  
放送局長 宮岡 洋明

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って委員より放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めました。

6. 審議内容

委員長：

ラジオを聞いていると、番組が安定していると思います。特に「とれたてラジオ」（月～金 午前 8 時から午前 11 時）と「くらっしい～♪」（月～金 正午から午後 3 時）は非常に安定していると感じます。パーソナリティに関して、色々な人に聞いても好き嫌いであったり、言葉の調子であったり、話し方であったり、色々あるかと思いますが、個性だと思います。やはり、変化も大切なことがたくさんあると思いますが、番組として安定するということは、安心して聞けることだと感じました。

委員：

地震が多発して心配だと思っている方も多いと思います。番組の中に、「チャッピー防災メモ」というのがありまして、思い出させてくれて良い番組だと思いました。安定している平和な時こそこのような番組を入れる事も大切だと改めて感じました。日頃、どんなこと

を準備すべきかというのを耳にタコができるぐらい、これからも言っていただければ我々にとって、重要なことだと感じました。

事業者：

地域住民への防災啓発は、私達の重要な責務であります。今後も引き続き、様々な方法・内容で防災啓発に努めてまいります。

委員：

私は SNS の発信をよく見ます。Twitter や Facebook、YouTube は動画で、耳から聴くのと目から見るのがラジオ番組だと思っています。特に Twitter の活用の仕方もうまくできていると思います。各番組を意識しながら発信をしていただきたいと思っています。

事業者：

SNS とラジオコンテンツの連動は、地域住民への情報到達に欠かせない手法となっております。引き続き効果的な連動方法を模索し、ブラッシュアップしてまいります。

委員：

「鬼澤信之のお茶カン Radio」（毎週水曜日 午後 9 時 30 分から午後 10 時）をよく聴きます。地元でやっていた職業体験の特集など、鬼澤先生が非常に面白い内容でやっていると思います。

委員：

番組がこの頃安定してきたという話がありましたが、私もパーソナリティの皆さん、本当につつがなく番組を進行させていると感じています。その中でより良い番組を目指すという観点から少しお話しをさせていただきます。FM チャッピーのパーソナリティの皆さんはほとんどの方が 1 人で番組を担当されています。その中で様々な作業をしながらたくさんの情報を私たちに提供してくれます。そのことに関して「ありがとうございます」という感謝の気持ちと、それから「大変だろうな」という気持ちを持っています。

委員：

パーソナリティの皆様には要求するのは躊躇するところもありますが、委員として何点か気づいたことをお話しします。平日の生放送を聞いていますと、みんな同じように聴こえてしまいパーソナリティの個性があまり感じられません。パーソナリティの峰ゆうこさんが朗読を始められました。朝のひと時、素敵な声に聴き入っています。峰さんは朗読会を開催されていますが、私はまだ行ったことがありません。参加された方からとても素晴らしい会だったと聞いています。私はもっともっと聴きたいです。峰さんの声が聴こえたら「今日は朗読が聴ける！」と私たちが思えるほど、峰さんの朗読を番組の中に取り入れてはいかがでしょうか。朗読に限らず例えばパーソナリティの誰々さんだったら近隣のハイキングの情報を

詳しくたっぷり聴けて楽しいとか、食材やお店など食に関することだったら誰々さんの番組が一番だっというような、パーソナリティさんの特技や特性を生かすようなコーナーがもっとたくさんあっても良いのではないかと感じています。

事業者：

ワンマンDJというスタイルにより、全て1人で番組制作を行っているという点にご理解をいただきありがとうございます。「パーソナリティの個性や得意分野を活かすこと」については、半期に1度の契約更新の際や普段の番組打ち合わせの中でのテーマとしています。今後もパーソナリティ各々の個性や得意分野を活かした企画・ゲストブッキングを進めてまいります。

委員：

パーソナリティの持っている個性を引き出すのは、パーソナリティ本人たちだけではなく、会社や制作サイドだとも思います。その事に関してはどういう風に考えていますか。

事業者：

半期に一度行われる契約更改の場で、本人からヒアリングした内容をもとに、得意分野や個性をまとめて社内共有しています。

委員長：これで、審議を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

## 7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
特になし		

## 8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

- ・7月6日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。
- ・7月30日（日）午前7：00～7：27「番組審議会レポート」にてラジオ放送。
- ・書面：自社来客用窓口に据え置き

以上